

## 第5章 事業計画

## 1. 計画期間・整備工程

建造物の保存修復をはじめ、環境整備、活用計画等を検討し、平成20年度から29年度までの10年間を整備工程として設定する。

### ①建造物の保存修復

平成20年度からは、劣化を防止するため、調整井上家への覆屋の設置など維持の方策を講じ、整備実施に向けた保存修復方法について検討する。建造物の保存活用については、保存整備検討委員会を設置するなどして検討し、平成22年度中に「保存活用計画」を策定する。これに基づき、保存修復事業に可能な限り速やかに着手する。修復事業実施中は、工事現場を公開するなど、文化財的価値の伝達に資する方策を講じる。

### ②地下設備等の調査・検討

水道施設として重要な送水管等の地下設備については、平成22年度から調査を行い、必要な措置を検討する。

### ③環境整備

旧美敷水源地水道施設の文化財的価値を明確にするためには、指定物件である建造物だけでなく、所在地である水源地全体の環境整備が必要である。これはかなり広範囲に及ぶため、財源等、整備に必要な条件を検討し、表示板・安全柵の設置、また景観維持のための植栽管理など、必要性が高く、可能なものから段階的に推進する。周遊路やガイダンス施設等は、平成25年度着手・29年度完成を目途に準備を進める。

### ④活用計画

環境整備の進展までの間、当面は仮設のガイダンス表示（指定物件・危険箇所表示など）・見学者等の安全確保のために必要な対応を可能な範囲で実施する。

この間、一般公開など、積極的な水源地の活用を地域住民や大学など外部の参加者の協力を得て行う。これら具体的な事業を通じて市民との協働による包括的な管理・利活用体制を段階的に確立していき、平成30年度の供用開始に向けて定常的管理・活用体制の整備を行う。

なお、整備実施状況、財政状況、中間評価等を踏まえ、必要に応じて「保存整備検討委員会」等による見直しを行う。

<整備工程表>

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
<b>全体</b>	保存整備検討委員会の開催・一般公開に向けての準備・実施状況・工程の管理										
<b>保存修理</b>	覆屋設置		建造物保存活用計画の策定 (H22)								
	建造物保存修復方法の検討		建造物保存修復実施設計 建造物修復工事								
<b>環境整備</b>	表示・安全柵等 一部整備（可能なもの・必要なものから） 活用可能な整備財源の検討					上流部周遊路、園路工事 表示板、安全柵、利便施設の設置					
<b>管理</b>	包括的な管理方法の検討・組織づくり・条例等ガイドラインの検討										
<b>利活用</b>	協働による包括的な利活用の組織づくり					左記の組織による利活用の実施					
	一般公開（期間限定） イベントの開催 活用方法検討 活用可能な整備財源の検討					一般公開（期間限定・範囲限定） 整備工事ガイダンス イベントの開催等活用の実施					
	情報発信、PR活動										
<b>調査研究</b>	建造物修復方針の検討		修復に伴う調査								
	関係資料の整理・調査			関係資料の修復・整備							
					地下遺構の把握			地下遺構の整備			
	水源地関係調査（歴史・構造等）										

公開・定常的管理へ移行

旧美敷水源地水道施設 整備工程表

年次 工程区分	整備中(～平成29年)											整備後(平成30年～)					事業費 (千円)	備考
	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34		
保存整備検討委員会	←--- 保存活用計画の策定 ---→																	
建造物保存修理	←--- 建造物保存修理検討部会 ---→																	※整備実施期間などは、建造物の状況等により変更もある。
濾過池(1号～5号) 修復																	30,000	
濾過池調整井上家 修復 (1号～5号)	← 覆屋設置 --- 設計 --- 工事 --- →																112,500	
濾過池接合井上家 修復	← 覆屋設置 --- 設計 --- 工事 --- →																12,500	
量水所 修復																	10,000	
人道橋 修復																	10,000	
人道橋(岩ヶ平) 修復																	10,000	
勝田ヶ平・通り谷 人道橋・量水堰 修復	← 設計 --- 工事 --- →																6,000	
																	小計 191,000	
環境整備	←--- 予算措置等検討 ---→																	第一期整備竣工・公開
周遊路整備	←--- 設計 --- 工事 ---→																66,000	
表示板整備	← 第1期 --- 第2期(工事対応) --- 第3期(最終調整) --- →																10,000	
安全柵等整備	← 第1期 --- 第2期(周遊路整備と一体) --- →																14,000	
貯水堰堤	(砂防堰堤として現状を維持)																	
利便施設設置 (便所・休憩施設・駐車場等)	← 設計 --- 設置工事 --- →																28,000	
																	小計 118,000	
管理・利活用・市民参画																		
管理	← 現行の管理組織 --- 整備期間に対応する組織 --- 定常的管理・利活用組織への移行 --- →																	
利活用・公開	← 期間を限定した公開・利活用 --- 整備工事のガイダンス(定期的説明会・ガイドツアー等) --- 平常一般公開 --- →																	
組織・市民参画	← 定常的な組織による組織づくり --- 定常的な組織による事業実施 --- 定常的形態に移行 --- →																	
調査・研究																		調査報告書・資料集の刊行
建造物・土木構造物 地下構造物・周辺環境	← 調査方針・方法・工程の検討 --- 調査の実施 --- →																3,000	
歴史資料・図面資料	← 調査の実施 --- 保存管理方針の確定・資料の公開 --- →																1,000	
																	小計 4,000	
第2期整備計画検討																		
事業費 合計(千円)																	313,000	

←--- 調査・設計・検討期間      ← 整備実施期間  
※設計に監理を含む。

※事業費は概算事業費である。